

私が僧侶に

なったワケ

～コロナ禍を通して
“いのち”を考える～

期 日 ▶ 2020年

12月13日(日)

14:00～16:30

会 場 ▶ 四日市別院（東別院）本堂
大分県宇佐市四日市 1425-1

定 員 ▶ 100名

参加費 ▶ 500円

申し込み方法・問い合わせ先は
裏面をご覧ください



ジェシー 釋尼萌海 しゃくに ほうかい

1979年スイス生まれ
24歳の時、日本に移住
琴古流尺八演奏家

2018年 得度



植田 美津恵 うえだ みつえ

1958年福岡県生まれ
医学博士
医学ジャーナリスト

2018年 得度



松尾 整子 まつお せいこ

1951年長崎県生まれ
公立中学校元校長
前衛書道家

2018年 得度

私が僧侶になったワケ

真宗大谷派 四日市別院 (東別院)
報恩講 初速夜のつどい

～コロナ禍を通して“いのち”を考える～

今年、真宗大谷派四日市別院の報恩講は日程の見直しをさせていただきました。初日、午後からの法要（初速夜）の後、四日市地域の方々や、報恩講を支えていただいている御門徒に、仏教や親鸞聖人を身近に感じていただくことを願い「初速夜のつどい」を開催いたします。

今回は「私が僧侶になったワケ ～コロナ禍を通して“いのち”を考える～」と題し、講演とパネルディスカッションを行います。

講演者の3人は、最近僧侶になったという共通点があります。各々が肉親の死や、ご自身の病気、そして仕事として医療や学校現場などに携わる中で、命（いのち）の問題に関わり、そのことに強く思いを寄せています。そして“いのち”の問題に向き合うとき、親鸞聖人の教えを依りどころにしているところも共通点と言えるでしょう。

3人のこれまでの歩みを通して“コロナ禍”をどう歩むか、そして私自身の“いのち”について一緒に考えてまいりましょう。

講演者紹介



ジェシー 釋尼萌海

1979年スイス生まれ。24歳の時に日本へ移住。来日後、お寺で聴いた尺八の音色に魅了され演奏家を志す。今では複数流派の「師範」となり、テレビ出演、学校等での訪問演奏も行う。親鸞聖人の教えとの出会いについて「母親の安楽死が縁となり、出遇えた」と語り、「いのちは誰のものか」をテーマに講演なども行っている。現在は真宗大谷派教師資格の取得を目指しつつ、声明（お勤めや儀式）作法の研鑽にも励んでいる。真宗大谷派誓願寺所属。



植田 美津恵

1958年福岡県生まれ。幼少期は実母が生まれ育った田川市のお寺に親しむ。公衆衛生学・心理学・医療制度など幅広い分野に精通し、医学博士の学位を持つ。現在は大学や専門学校で教壇に立つ傍ら、NHK BS プレミアム「偉人たちの健康診断」など、テレビ出演も多数。近年、自らの病気、両親の死などを通じて仏教に関心を持ち、2018年に得度。翌年に教師資格を取得し、2020年8月には死をテーマにした著書『いつか来る、はじめての「死」』を上梓。真宗大谷派西岸寺所属。



松尾 整子

1951年長崎県生まれ。長年、公立中学教員として学校現場に携わる中、竹下哲（元長崎県教育長）氏の影響を受け親鸞聖人の教えに触れるようになり、学びの場があれば大谷派、本願寺派問わず積極的に参加。退職後は、2004年に起こった佐世保小6女児同級生殺害事件の被害者家族への支援、また新聞社主催の文化サークルで『歎異抄』（親鸞の語録）講義も行うなど、「一般市民に仏教のご縁を」と願い活動する。2018年に得度、翌年に教師資格を取得。浄土真宗本願寺派真楽寺所属。

応募要項

申込方法：必要事項（氏名・住所・電話番号・参加人数）を電話・FAX・メール・ハガキにて下記の申込先にお知らせください。

参加費：500円 ※当日受付にてお納めください。

定員：100名 ※申込は先着順で、定員になり次第締め切ります。

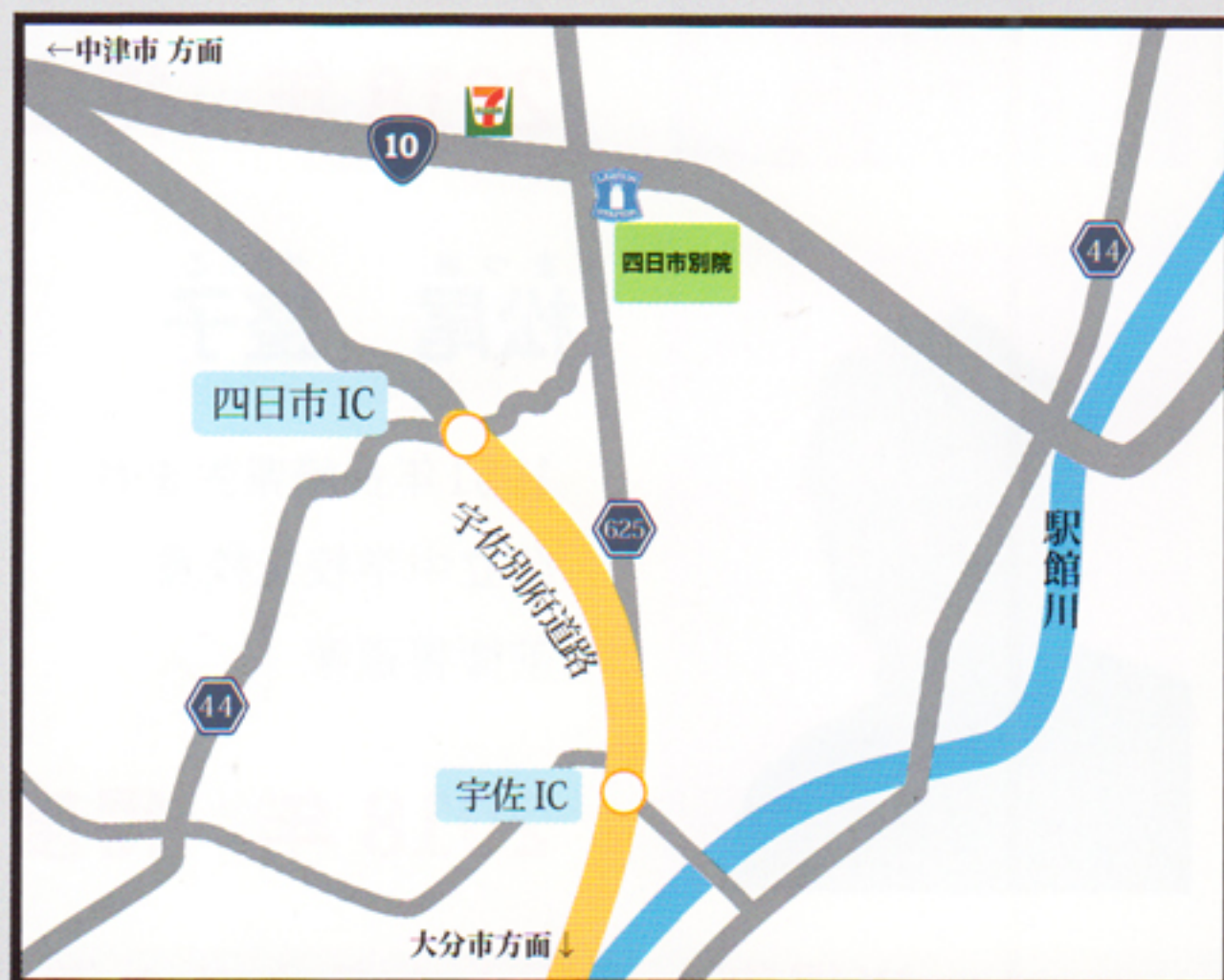
申込先：真宗大谷派 四日市別院 〒879-0471 大分県宇佐市四日市 1425-1

TEL:0978-32-0050 FAX:0978-32-0092 E-mail:yokkaichihigashibetsuin@gmail.com

※ご応募いただいた個人情報は、このたびの初速夜のつどいに関するご案内に限り使用させていただきます。

※新型コロナウイルス感染拡大等により、日程、開催方法、会場が変更になる場合があります。

会場へのアクセス・周辺図



●お車でのお越しの方... 宇佐別府道路四日市ICから約3分
●JRでお越しの方... 柳ヶ浦駅から、タクシーで約15分
宇佐駅から、タクシーで約20分